

都道府県下水道担当課長
政令指定都市下水道担当課長
（上記、各地方整備局経由）
市町村下水道担当課長
（上記、各都道府県経由）
日本下水道事業団事業課長
都市再生機構下水道担当課長

） 殿

国土交通省水管理・国土保全局
下水道部
下水道企画課
管理企画指導室課長補佐
下水道事業課
事業マネジメント推進室課長補佐

下水道セーフティネット NO. 222 について

1. 人身事故

(1) 維持管理作業

令和元年 10 月は 5 件（死亡：0 件、負傷：5 件） の事故報告があり、昨年の同月と比べ、2 件の増となりました。

10 月の負傷事故は、5 件のうち 4 件が「はさまれ・巻き込まれ」によるもので、汚泥ポンプの確認時に、ポンプの完全停止を確認せずにベルト点検口に手をいれ、動いていたベルトに接触して負傷した事故や、水路の竹伐採作業において、伐採後の竹を収集車へ積込む際に、声掛け合図をせずに機械を操作していたため、作業員の手が収集車に巻き込まれた事故等でした。

(2) 工事

令和元年 10 月は 15 件（死亡：0 件、負傷：15 件） の事故報告がありました。昨年の同月と比べ、9 件の増となりました。

負傷事故 15 件のうち、「墜落・転落」と「はさまれ・巻き込まれ」による事故が各 5 件でした。その他には「飛来・落下」や「激突」、「公衆災害」等でした。主な事故としては、作業足場での資材の吊上げ時に、バランスを崩して足場から地面へ墜落した事故や、安全ブロックの引寄せロープがスクリークリート内の攪拌翼に巻き込まれ、作業員が締付けられる事故でした。

2. 水質事故等

令和元年 10 月は 5 件（水質事故：5 件、その他案件：0 件） の事故報告があり、昨年の同月と比べ、1 件の増となりました。

10 月の水質事故は、民間事業者において、ワクチンの原料である弱毒ウイルスを含む培養液が、適切な不活化処理（死滅させること）を施さないまま下水道に排水された事案や、ビル解体工事に伴うボイラー燃料配管の切断時に油が流出し、公共下水道枝線に流れた事案等でした。

年末に向けて工事も繁忙期となり、作業が増えるとともに、工事事故の件数も増加しております。各下水道管理者におかれましては、引き続き、安全管理を徹底し、事故の未然防止に努めるとともに、施設の運転管理や保安全管理を適切に実施していただきますようお願いいたします。

※ 下水道の維持管理に関する事故、工事現場で事故が発生した場合には、原則各地方整備局等の担当まで報告をお願いします。また、重大な事故の場合は、本省及び各地方整備局の担当まで同時に報告をお願いします。

※ 下記のHPにて掲載している、下水道セーフティネット、事故データベース、通知等を活用して頂きまして、事故の未然防止に努めて頂きますようお願いいたします。

HP : http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000005.html

※ 厚生労働省の下記のHPに労働災害事例が掲載されていますので、事故の未然防止に活用していただきますようお願いいたします。

HP : http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SAI_FND.aspx

(担当・問い合わせ先)

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部

下水道企画課管理企画指導室 (維持管理事故担当)

佐藤 : satou-y8314@mlit.go.jp

TEL:03-5253-8428 (直通) FAX: 03-5253-1597

下水道事業課事業マネジメント推進室 (工事事故担当)

小松 : komatsu-k2gk@mlit.go.jp

山本 : yamamoto-y2q5@mlit.go.jp

TEL:03-5253-8431 (直通) FAX: 03-5253-1597

令和元年度
下水道に関する人身事故発生状況について
(令和元年 10 月末現在)

1. 総括
2. 維持管理作業
3. 工事

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

1.人身事故発生状況(総括)

(令和元年10月末現在)

令和元年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月までの集計	合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	2. 負傷事故	1 (3)	1 (3)	1 (2)	3 (4)	1 (4)	1 (4)	5 (3)	0 (4)	0 (3)	0 (2)	0 (3)	0 (2)	13 (23)	13 (37)
	合計	1 (3)	1 (3)	1 (2)	3 (4)	1 (4)	1 (4)	5 (3)	0 (4)	0 (3)	0 (2)	0 (3)	0 (2)	13 (23)	13 (37)
	累計	1 (3)	2 (6)	3 (8)	6 (12)	7 (16)	8 (20)	13 (23)	13 (27)	13 (30)	13 (32)	13 (35)	13 (37)	-	-
工事	1. 死亡事故	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	2 (0)	2 (2)
	2. 負傷事故	4 (3)	4 (4)	3 (5)	7 (14)	6 (4)	4 (5)	15 (6)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (9)	0 (3)	43 (41)	43 (81)
	合計	4 (3)	5 (4)	3 (5)	7 (14)	6 (4)	5 (5)	15 (6)	0 (10)	0 (9)	0 (9)	0 (11)	0 (3)	45 (41)	45 (83)
	累計	4 (3)	9 (7)	12 (12)	19 (26)	25 (30)	30 (35)	45 (41)	45 (51)	45 (60)	45 (69)	45 (80)	45 (83)	-	-
合計	1. 死亡事故	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	2 (0)	2 (2)
	2. 負傷事故	5 (6)	5 (7)	4 (7)	10 (18)	7 (8)	5 (9)	20 (9)	0 (14)	0 (12)	0 (11)	0 (12)	0 (5)	56 (64)	56 (118)
	合計	5 (6)	6 (7)	4 (7)	10 (18)	7 (8)	6 (9)	20 (9)	0 (14)	0 (12)	0 (11)	0 (14)	0 (5)	58 (64)	58 (120)
	累計	5 (6)	11 (13)	15 (20)	25 (38)	32 (46)	38 (55)	58 (64)	58 (78)	58 (90)	58 (101)	58 (115)	58 (120)	-	-

※下段()書きは前年度(平成30年度)の値
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.人身事故発生状況(維持管理作業)

(令和元年10月末現在)

令和元年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成30年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	4	14
	2. 政令市	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	9
	3. 一般市	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	5	12
	4. 町村	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	2
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	1	1	1	3	1	1	5	0	0	0	0	0	13	37
発生施設	1. 管渠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. マンホール	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4
	3. 処理場	1	1	0	2	1	1	3	0	0	0	0	0	9	22
	4. ポンプ場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	5. その他	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	5
	合計	1	1	1	3	1	1	5	0	0	0	0	0	13	37
事故類型	死亡事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷事故	1	1	1	3	1	1	5	0	0	0	0	0	13	37
	1. 墜落・転落	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4	7
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	13
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	5. 転倒	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
14. その他	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	6	
合計	1	1	1	3	1	1	5	0	0	0	0	0	13	37	
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	2. 委託先業者	1	1	1	3	1	1	4	0	0	0	0	0	12	31
	3. 第三者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	合計(人)	1	1	1	3	1	1	5	0	0	0	0	0	13	37
	累計	1	2	3	6	7	8	13	13	13	13	13	13	-	-

平成30年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	2. 委託先業者	3	0	1	3	4	4	3	4	3	1	3	2	31
	3. 第三者	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	合計(人)	3	3	2	4	4	4	3	4	3	2	3	2	37
	累計	3	6	8	12	16	20	23	27	30	32	35	37	-

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

人身事故情報データベース(維持管理作業)

令和元年10月末現在

NO.	発生日月	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者				
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等	被災者	年齢	性別	被害状況	
10月											
1	R1.10.3	4. 町村	マンホール	①負傷事故	2.はさまれ・巻き込まれ	水中ポンプのオイル交換作業中、クレーンで吊り上げた水中ポンプを枕木に仮置きし、排油作業を実施。排油作業完了後、オイルの注油作業実施のため、ポンプを180度回転させようとしたとき、当該作業員がポンプ下部(ベルマウス)に手をかけて回転を手伝おうとしたところ、ポンプがすべり、反動でずれた枕木とベルマウスに手が挟まれ、右手中指第一関節部を切断した。	作業前KY運動実施。 作業補助材(枕木)の適切な選定。	委託先業者	65	男	右手中指切断
2	R1.10.18	4. 町村	処理場	①負傷事故	2.はさまれ・巻き込まれ	最終沈殿池の水位が上がっていたため、返送汚泥ポンプを確認。操作盤にて、ポンプ停止後完全停止確認せずベルト点検口に手をいれたため、動いていたベルトに接触したことにより指が削られたようにを負傷した。	受注者へ安全管理の指導を実施。 受注者は作業手順書の再確認及び徹底。(現場に注意喚起用の掲示を行った)	委託先業者	36	男	右手中指先端欠損
3	R1.10.28	1. 都道府県	処理場	①負傷事故	2.はさまれ・巻き込まれ	脱水ケーキ搬出ホッパーから、落下する汚水を受けるための配管を移動させるため、上部を確認しながら作業を行っていたところ、配管のストッパー取付用台(二枚の板状)に右手人差指が挟まれ、人差指の一部(第1関節より指先側の側面)を欠損した。軍手をしていたため、欠損した一部は軍手の中に残っていた。作業手順と異なる動作をしたことによる挟まれ事故。	応急対策として、事故原因の器具を操作禁止とし、操作禁止札を掲示。汚水の滴下部にはバケツを置き、溜まったら側溝に排水。 処理場内の挟まれ事故発生危険箇所点検及び作業手順の再教育。 恒久対策として、事故の原因となった器具の改修。	委託先業者	39	男	右手人差指欠損
4	R1.10.29	2. 政令市	処理場	①負傷事故	5.転倒	上下水道局職員が水処理センター構内を巡視点検していた際、雨で濡れていた反応タンク上部に設置してあるステンレス板で滑って転倒。転倒した際に左肩を強打し、骨折した。	再発防止策は検討中。	自治体職員	59	男	左上腕骨大結節骨折
5	R1.10.31	3. 一般市	その他	①負傷事故	2.はさまれ・巻き込まれ	水路の竹伐採作業において、伐採後の竹を民間駐車場内(平坦部)で収集車へ積込中に手が巻き込まれた。2人体制で作業をしていて、1人は収集車のボタン操作をしていた。巻き込まれる際に緊急停止ボタンを押したが間に合わなかった。 声掛け合図をせず作業し機械を操作していた事が原因である。	事故当日、業務責任者と再発防止策について確認を行い、清掃業者にて作業手順の再確認の教育を行った。今後定期的に事故防止に対するミーティングを行う。	委託先業者	58	男	右手指5本骨折、手の平裂傷し神経切断

3.事故発生状況(工事) (令和元年10月末現在)

令和元年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成30年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	11
	2. 政令市	3	6	2	4	2	2	6	0	0	0	0	0	25	43
	3. 一般市	2	3	0	5	6	6	7	0	0	0	0	0	29	65
	4. 町村	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3	7
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	6	10	3	10	8	8	16	0	0	0	0	0	61	126
工事分類	1. 管きょ開削	1	9	0	5	6	6	7	0	0	0	0	0	34	79
	2. 管きょ推進	3	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	6	13
	3. 管きょシールド	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	4	7
	4. 管きょその他	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	5	9
	5. 処ボ土木建築	1	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	8	7
	6. 処ボ機械電気	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4	10
	7. 処ボその他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	合計	6	10	3	10	8	8	16	0	0	0	0	0	61	126
事故類型	1. 墜落・転落	1	0	2	0	1	1	5	0	0	0	0	0	10	25
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	1	0	3	2	3	5	0	0	0	0	0	14	13
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	9
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
	5. 転倒	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11
	6. 激突	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2
	7. 土砂崩壊	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	4	5
	8. 交通事故	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12-1. 公衆災害(人身)	3	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	8	4
	12-2. 公衆災害(物損)	2	5	0	3	2	3	1	0	0	0	0	0	16	42
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	7
合計	6	10	3	10	8	8	16	0	0	0	0	0	61	126	
被災者数(人)	1. 死亡	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2
	2. 重傷	1	2	2	4	6	4	13	0	0	0	0	0	32	70
	3. 軽傷	3	2	1	6	0	0	3	0	0	0	0	0	15	19
	合計(人)	4	5	3	10	6	5	16	0	0	0	0	0	49	91
	累計	4	9	12	22	28	33	49	49	49	49	49	49	-	-
その他(民間発注工事など)															
	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	

平成30年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	2. 重傷	2	4	5	10	3	5	5	8	10	7	8	3	70
	3. 軽傷	1	1	1	9	1	0	1	2	0	2	1	0	19
	合計(人)	3	5	6	19	4	5	6	10	10	9	11	3	91
	累計	3	8	14	33	37	42	48	58	68	77	88	91	-
その他(民間発注工事など)														
	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

